

株式会社時代村

貸借対照表

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	469,299	流動負債	230,540
現金及び預金	382,481	買掛金	6,845
売掛金	38,174	未払金	90,647
商品	15,906	未払費用	27,811
貯蔵品	4,457	前受家賃	4,850
未収入金	16,699	預り金	47,445
前払費用	583	賞与引当金	32,479
短期貸付金	10,000	未払法人税等	6,662
立替金	653	未払消費税	12,474
仮払金	12,124	仮受金	1,323
貸倒引当金	11,780		
固定資産	2,488,906	固定負債	2,090,078
有形固定資産	2,404,976		
建物	1,090,860	長期借入金	1,778,955
建物附属設備	142,921	預り保証金	311,122
構築物	404,720		
船舶	1,013	負債合計	2,320,618
車輜運搬具	6,134	(純資産の部)	
什器備品	57,673	株主資本	637,587
土地	701,651	資本金	400,000
無形固定資産	12,263	利益剰余金	237,587
商標権	881	その他利益剰余金	237,587
電話加入権	338	繰越利益剰余金	237,587
ソフトウェア	11,043		
投資その他の資産	71,666	純資産合計	637,587
差入保証金	1,244		
保険積立金	27,172	負債・純資産合計	2,958,206
長期未収入金	148,275		
その他	370		
貸倒引当金	105,395		
資産合計	2,958,206		

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 …… 移動平均法による原価法によっております。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 定率法によっております。

平成10年4月1日以降に取得した建物は、定額法を採用しております。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

無形固定資産 …… 定額法によっております。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …… 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については財務内容評価法に基づき個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 …… 役員及び従業員に対する賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上しております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(5) その他計算書類等作成のための基本となる事項

「減損会計基準」の採用

当期から「固定資産の減損に係る会計基準」(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)を適用しております。

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 貸借対照表注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額		7,750,950 千円
(2) 担保に供している資産	建 物	865,673 千円
	建物付属設備	101,603 千円
	構 築 物	396,089 千円
	船 舶	1,013 千円
	什 器 備 品	57,101 千円
	土 地	575,499 千円
(3) 保証債務残高は、他の時代村のテナント預り保証金があります。		
	(株)登別伊達時代村	38,343 千円
	(株)伊勢安土・桃山文化村	122,288 千円
	(株)加賀百万石時代村	46,592 千円
(4) 取締役(支配株主)に対する長期金銭債務		978,955 千円
(5) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。		

3. 損益計算書注記

(1) 1株当たりの当期純利益	147 円 15 銭
(2) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。	